

2022年7月19日

各位

会社名株式会社グリムス
代表者名代表取締役社長 田中 政臣
(コード番号：3150 東証プライム)
問い合わせ先 財務企画部長 阿部 嘉雄
TEL 03-5769-3500

対価支払型デマンドレスポンス「おとく節電サービス」開始のお知らせ

当社の連結子会社であります株式会社グリムスパワー（以下、グリムスパワー）は、対価支払型デマンドレスポンスサービス（以下、DRサービス）の「おとく節電サービス」を8月1日より開始することを決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 背景

当社は、当社の連結子会社であります株式会社グリムソーラーが、2018年度から2020年度までの3か年に渡り、経済産業省が実施した「需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント構築実証事業」に参画するなど、DRサービスに関わるノウハウを蓄積してまいりました。

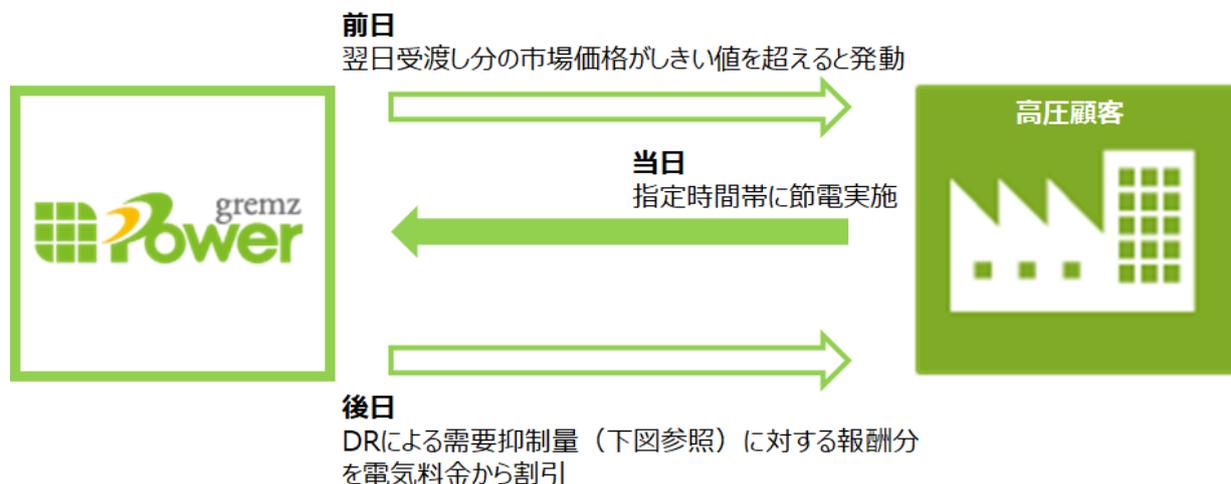
また、2022年度夏季及び冬季の電力需給が厳しい状況にあることを踏まえ、政府は6月7日に「電力需給に関する検討会合」を5年ぶりに開催し、「2022年度の電力需給に関する総合対策」の中で、需要対策として、DRサービスの普及拡大や節電要請の高度化などを決定しました。

グリムスパワーはこれらを踏まえて、6月より、需給ひっ迫が見込まれる場合に、需要家に対してタイムリーな節電要請を行ってまいりましたが、更に8月1日より対価支払型のDRサービス※「おとく節電サービス」を開始する運びとなりました。

※DRサービス：電力需要家が電力需要量を調整することで電力の需要と供給のバランスをとることをデマンドレスポンス（DR）といいます。対価支払型のDRサービスとは、電力需給ひっ迫時に需要抑制した需要家に対価を支払うサービスのことをいいます。

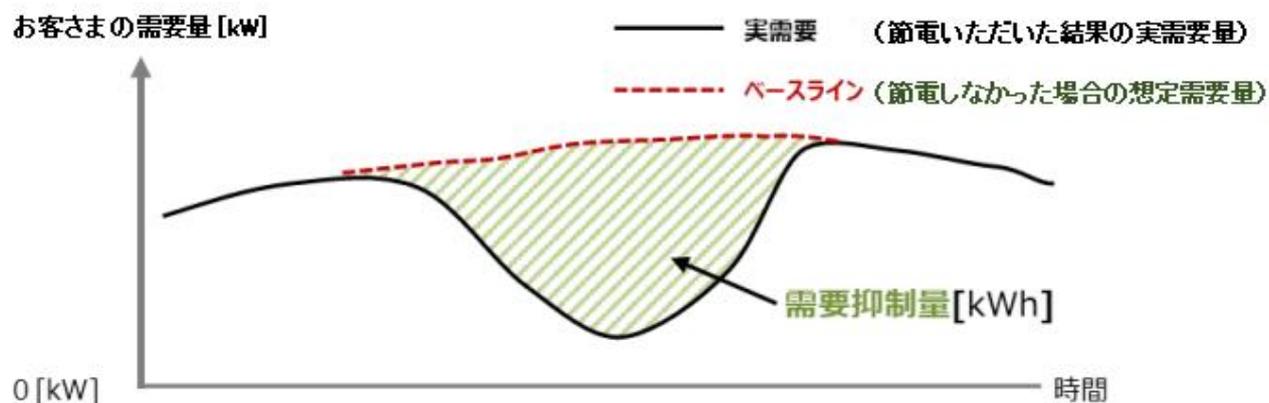
2. おとく節電サービスの概要

(1) サービスの流れ



(2) 需要抑制量の評価方法

資源エネルギー庁が策定した「エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネスに関するガイドライン」に定められた方法に従って評価します。



(3) 対象顧客

当面は当社の高圧顧客を対象といたします。当社の低圧顧客や他社顧客への展開については、高圧顧客における実績を見てから検討します。

3. 今後の展望

脱炭素の流れの中、今後も需給のひっ迫は続くものと想定されます。当社はこの度の「おとく節電サービス」を単発のサービスで終わらせることのないよう、当社が販売する他商材を絡めた複合的なサービスの検討や今後新たに検討する新ストックビジネスとのシナジー効果など、総合的な視野で取り組んでいきます。

4. 業績への影響

本件の当期業績へ与える影響につきましては軽微であると見込んでおります。

(参考)

「2022年度の電力需給に関する総合対策」

<https://www.meti.go.jp/press/2022/06/20220607003/20220607003-1.pdf>

「エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネスに関するガイドライン」

<https://www.meti.go.jp/press/2020/06/20200601001/20200601001-1.pdf>

以上